

米国・欧州主要国の景気概況 ＜2004年10月号＞

【目次】

I．米国経済

- 1．景気概況～景気の拡大ペースは減速 … p.1
- 2．米国経済の注目点 … p.3
 - IT需要にピークアウトの兆し

II．欧州経済

- 1．ユーロ圏～外需主導の緩やかな回復過程 … p.5
- 2．英国～内需を牽引役に引き続き堅調 … p.8

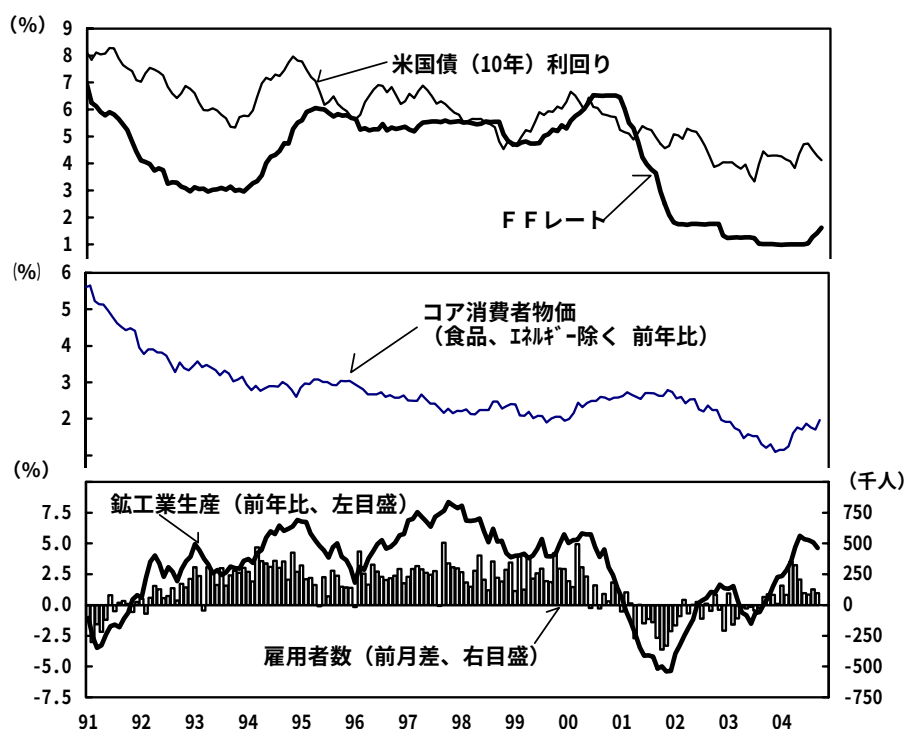


【お問い合わせ先】調査部(東京) 海外経済班
(米国経済) 高山 E-Mail: shin.takayama@ufji.co.jp
(欧州経済) 野田 E-Mail: ndmariko@ufji.co.jp

Ⅰ．米国経済

1．景気概況

- ・ 景気は拡大を続けているが、拡大ペースは減速している。4-6月期の実質GDP成長率（確報値）は前期比年率3.3%となり、1-3月期の同4.5%を下回った。また、足元の生産活動にも鈍化の動きがみられる。鉱工業生産をみると、9月は前年同月比4.6%増と、5月（同5.6%増）をピークに減速傾向にある。
- ・ 個人消費は底堅い動きが続いている。9月の自動車販売台数は、販促インセンティブの拡大により前月比5.5%増加した。また、9月の小売売上高（自動車以外）は同0.6%増となり、5ヵ月連続で前月水準を上回った。雇用改善による所得の増加や、年央以降の長期金利低下を受けた住宅ローンの借り換え増加などが消費を押し上げている。ただし、その一方で原油価格の高どまりや消費者マインドの軟調などの懸念材料もあるため、今後、個人消費が一段と加速する可能性は小さいとみられる。
- ・ 設備投資は増加基調が続いているが、一部に鈍化の兆しもみられる。8月のコア資本財受注は前月比0.8%減と、3ヵ月ぶりに減少した。ただし、足元から年末にかけては設備投資減税（償却率拡大、今年末まで）終了前の駆け込み需要が予想されるため、設備投資は底堅さを持続するとみられる。
- ・ 貿易収支は大幅な赤字が続いている。8月の貿易赤字は540.4億ドルと、前月比34.9億ドル拡大し、単月の赤字としては過去2番目の大きさとなった。原油価格の高騰が貿易赤字の拡大要因となっている。8月の貿易収支のうち石油関連の貿易赤字は140.7億ドルとなり、前月比14.8億ドル拡大した。



【米国経済指標】

景 気	経 済 指 標	2002	2003	04/1Q	04/2Q	04/3Q	04/5	04/6	04/7	04/8	04/9
要 サ イ ド	全般										
	実質GDP(前期比年率)	1.9	3.0	4.5	3.3		-	-	-	-	-
	I S M指数	52.4	53.3	62.5	62.1	59.8	62.8	61.1	62.0	59.0	58.5
	景気先行指数(CI)	2.2	1.3	0.9	0.8		0.5	-0.1	-0.3	-0.3	-0.1
	企業収益(税引前)	6.9	15.0	-0.4	2.7		-	-	-	-	-
	個人消費										
	消費者信頼感指数(1985=100)	96.6	79.8	91.6	96.3	100.4	93.1	102.8	105.7	98.7	96.8
	小売売上高	2.5	5.4	2.3	1.6	1.4	1.4	-0.7	1.0	-0.2	1.5
	同(乗用車を除く)	3.2	5.2	2.9	1.9	1.2	0.9	0.2	0.4	0.2	0.6
	自動車販売台数(年率、100万台)	16.7	16.6	16.5	16.5	17.1	17.7	15.4	17.2	16.6	17.5
	名目可処分所得	4.6	4.2	1.4	1.4		0.5	0.2	0.2	0.4	
	個人貯蓄率	2.0	1.4	1.0	1.2		0.9	1.4	0.5	0.9	
	設備投資										
	コプラ本財出荷	-6.3	2.2	2.9	2.2		-2.8	2.6	2.3	0.8	
	同(前年比)			11.3	12.3		11.6	11.4	11.1	14.4	
	コプラ本財受注	-7.1	6.6	3.7	1.9		-2.0	1.8	0.6	-0.8	
	情報機器出荷	-9.5	4.8	0.9	1.0		-2.9	0.2	3.1	2.1	
	住宅投資										
	新設住宅着工戸数(年率、万戸)	171.1	184.8	194.3	192.0	196.8	197.9	181.7	198.5	202.0	189.8
	同(前年比)	6.9	8.0	11.2	10.0	4.5	13.2	-1.8	4.9	10.1	-1.2
	着工許可	6.9	4.7	-1.9	4.3	-0.1	4.5	-7.2	6.2	-4.7	1.8
	輸出										
	セサス名目	-4.9	4.6	4.0	2.6		4.1	-5.6	3.8	0.0	
	セサス実質	-4.7	2.2	2.4	1.5		3.7	-5.2	3.5	0.2	
	I S M輸出向け受注指数	52.1	54.9	58.1	59.4	54.1	60.6	56.7	56.2	54.2	51.8
給 サ イ ド	生産										
	鉱工業生産	-0.6	0.3	1.6	1.2	0.7	0.8	-0.3	0.7	-0.1	0.1
	同(前年比)			2.9	5.2	5.0	5.6	5.3	5.3	5.1	4.6
	設備稼働率(%)	75.6	74.8	76.5	77.1	77.3	77.4	77.0	77.4	77.2	77.2
	企業在庫率	1.40	1.37	1.32	1.31		1.30	1.31	1.32	1.31	
	雇用										
	失業率(%)	5.8	6.0	5.6	5.6	5.4	5.6	5.6	5.5	5.4	5.4
	雇用者増(非農業)(千人)	-47	-25	198	253	295	208	96	85	128	96
	同(製造業)(千人)	-67	-61	7	17	25	31	-3	5	4	-18
	輸入										
	セサス名目	1.8	8.2	5.6	5.3		1.0	3.0	-1.3	2.1	
	セサス実質	3.7	5.2	3.2	3.4		0.0	2.9	-1.2	0.8	
	同(前年比)			9.4	12.7		10.2	13.7	11.2	14.9	
国際収支	経常収支(10億ドル)	-473.9	-530.7	-147.2	-166.2		-	-	-	-	-
	貿易収支(セサス名目、10億ドル)	-468.3	-532.4	-146.9	-159.9		-50.3	-57.8	-53.7	-56.3	
物 価	生産者物価(最終財)	-1.3	3.2	1.0	1.5	0.2	0.6	-0.1	0.1	-0.1	0.1
	消費者物価(コア)	2.3	1.5	0.4	0.7		0.2	0.1	0.1	0.1	0.3
	同(前年比)			1.3	1.8		1.7	1.9	1.8	1.7	2.0
	雇用コスト(民間・末値)	3.4	4.0	1.1	1.0		-	-	-	-	-
	時間給	2.9	2.7	0.5	0.7	0.8	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2
	同(前年比)			1.8	2.1	2.2	2.1	2.1	2.0	2.2	2.4
金 融	I S M仕入価格指数	57.4	59.6	81.0	85.0	78.2	86.0	81.0	77.0	81.5	76.0
	M2(前期比年率)	7.6	6.9	3.6	10.1		15.0	1.8	-1.5	1.5	
	FFレート(実効レート、%)	1.67	1.13	1.00	1.01	1.44	1.00	1.03	1.27	1.43	1.62
	10年物国債利回り(末値、%)	3.83	4.25	3.86	4.62	4.14	4.66	4.62	4.50	4.13	4.14
市場データ	NYダウ指数(末値)	8,342	10,454	10,358	10,435	10,080	10,188	10,435	10,140	10,174	10,080
	ドル実効レート(Broad, 97.1=100)	126.75	119.30	113.30	116.04	115.05	117.08	115.91	115.08	115.26	114.81
	同(前年比)	0.7	-5.9	-8.2	-2.6	-3.3	-0.8	-1.2	-2.9	-3.9	-3.2
	JOCインデックス	79.58	92.01	111.11	112.65	115.06	112.50	109.76	111.58	117.04	116.57

(注1) 原則として数字は季節調整済前期比(%)。

(注2) 雇用者増減数の年計数および四半期計数は月平均ベースに換算。

(注3) 10年債利回りはコンスタント・マチュリティー・ベース(FRB)

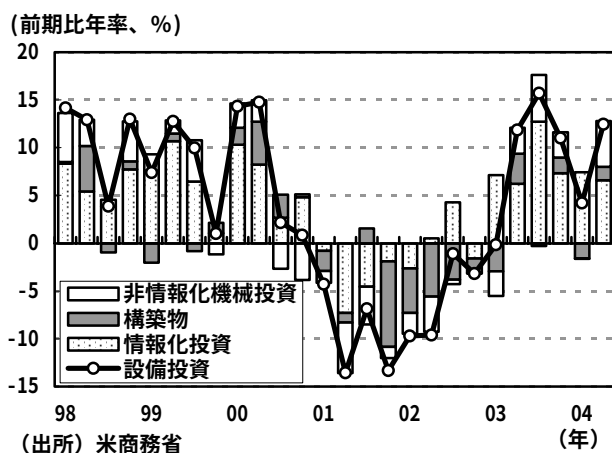
(注4) 米商務省、米労働省、FRB、コンファレンス・ボード資料などより作成。

2. 米国経済の注目点

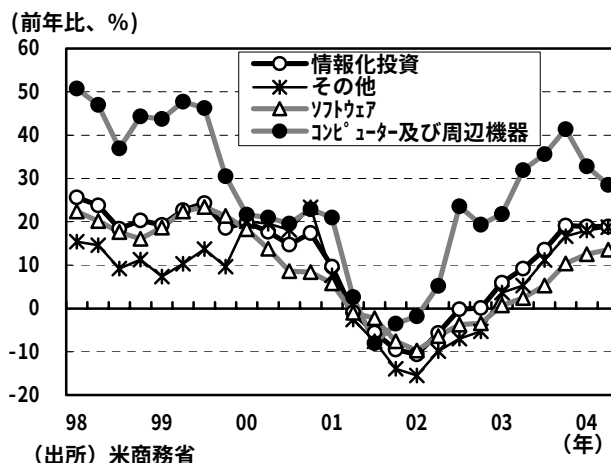
○IT需要にピークアウトの兆し

- ・情報化投資は、今回の景気回復局面において他の設備投資に先行して回復に転じ、その後も設備投資全体の牽引役となってきた（図表1）。情報化投資増加の主たる要因は、コンピューターの更新需要である。1990年代末のITブーム下で行われたコンピューター投資の更新需要が2002年後半から顕在化し（コンピューターの除却期間は3～4年）、情報化投資を押し上げてきた。しかし、足元、そうしたコンピューターの更新投資は一巡しつつある。コンピューター及び周辺機器投資の伸び率をみると、4-6月期は前年比28.5%と、昨年10-12月期の同41.3%をピークに鈍化している（図表2）。また、ソフトウェア投資等、コンピューター投資以外の情報化投資の伸びも頭打ちとなっており、総じて情報化投資にピークアウトの兆しがみられる。

図表1. 設備投資

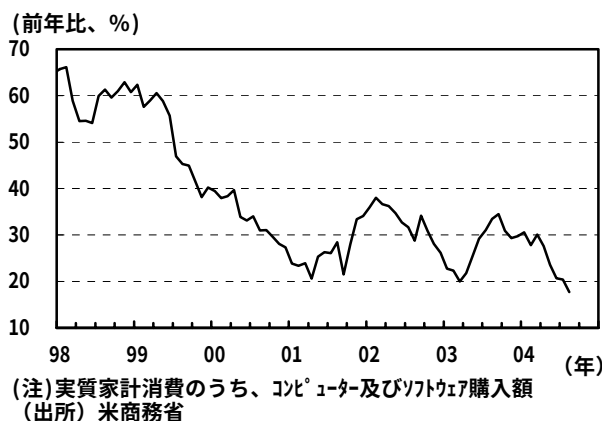


図表2. 情報化投資

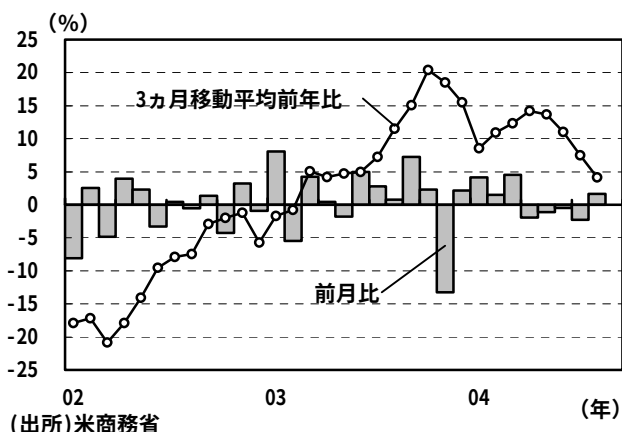


- ・また、家計のIT需要はすでに鈍化傾向にある。8月の家計のIT関連機器実質購入額は前年比17.7%増と、現在の統計になった1992年以降で最も低い伸びとなった（図表3）。こうした家計と企業のIT需要の鈍化を受けて、情報機器の受注も大きく減速している（図表4）。

図表3. IT関連機器実質購入額

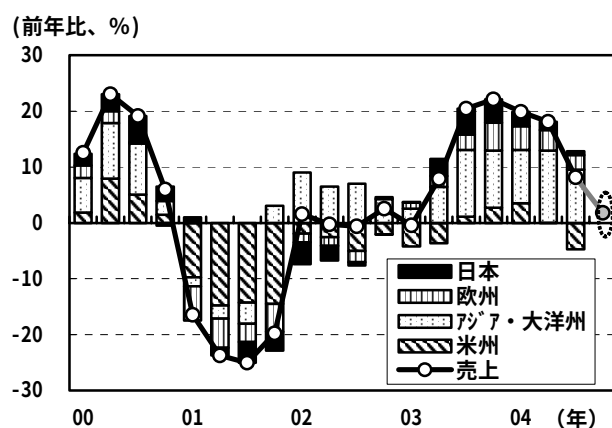


図表4. 情報機器受注



- ・ I T 需要の鈍化は、個別企業の決算にも表れている。米半導体大手企業インテルの 7-9 月期決算をみると、米州向けの売上が前年同期比 17% 減と、5 四半期ぶりに減少に転じた（図表 5）。また、在庫率は 4-6 月期に 1.20 ヶ月と I T バブル崩壊以降では最高の水準まで上昇し、7-9 月期には在庫調整が行われた（図表 6）。今後の需要についても慎重な見方がとられており、10-12 月期にも引き続き在庫調整が計画されている。

図表 5．インテル売上高



(注) 04年10-12月期は予想売上（前年比2%減～5%増）。
(出所) インテル

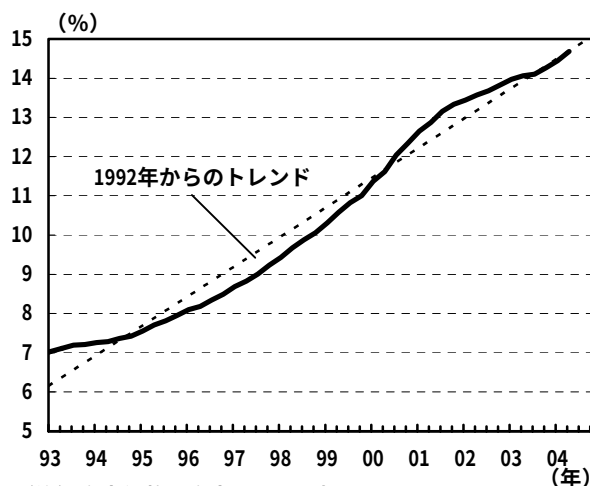
図表 6．インテル在庫率



(注) 在庫率=在庫残高÷売上高
(出所) インテル

- ・ I T 需要の伸びは今後、減速傾向で推移するとみられるが、大幅な調整に至る可能性は小さい。足元の情報化設備資本ストックの資本係数は、トレンドとほぼ同程度であり、ストックの過剰な積み上がりは生じていない（図表 7）。また、景気全体の先行きについても個人消費を中心に底堅く推移するとみられ、企業活動も拡大傾向を維持するとみられる。I T 需要は更新投資一巡によって鈍化が見込まれるが、企業活動の拡大持続を背景に大幅な減少は回避されよう。

図表 7．情報化設備資本係数



(注) 資本係数=資本ストック額÷GDP
2003年以降は、除却率一定と仮定して推計。
(出所) 米商務省

II. 欧州経済

1. ユーロ圏

- ・ ユーロ圏経済は、外需主導の緩やかな景気回復過程にある。
- ・ EU域外向けを中心に輸出が堅調に推移しており(1-6月実績ベースで中国向け前年比23%増、ロシア向け同20%増、トルコ向け同42%増)、製造業生産も拡大傾向を持続している。一方、8月の小売売上数量指数は、食料品の売上減(前年比1.7%減)から同0.3%減となった。雇用環境の改善の遅れから、内需は依然として低迷している。
- ・ 9月の消費者物価上昇率は前年比2.1%と8月に比べて0.3%pt低下した。原油価格高騰を受けてガソリン価格の上昇は見られるものの、通信費などの下落によって相殺されているため、物価は依然として安定基調で推移している。
- ・ こうした中、ECBは10月7日の政策委員会でレポ金利の2.0%据置きを決めた。

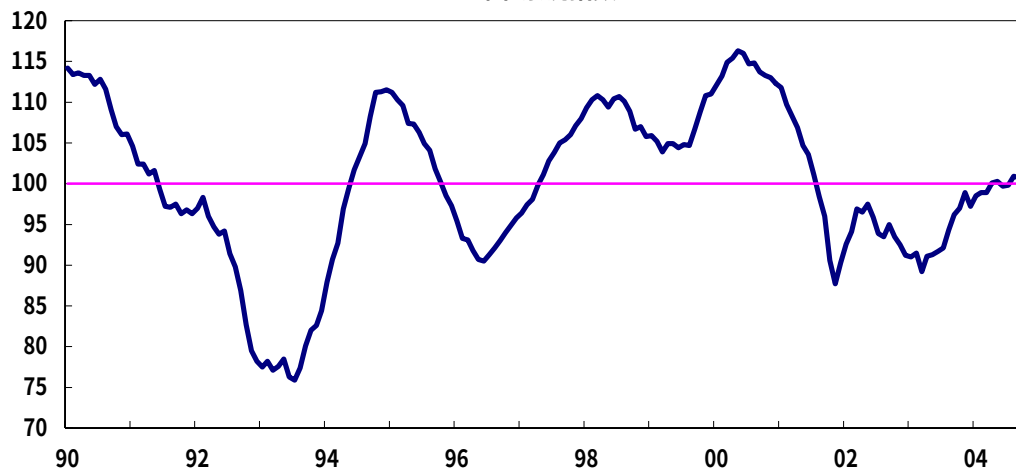
【ユーロ圏の主要経済指標】

		経済指標	01	02	03	04/ I	04/ II	04/ III	04/ 06	04/ 07	04/ 08	04/ 09
景気	全般	実質GDP* (上段：前期比)				0.6	0.5					
		(下段：前年比)	1.6	0.8	0.5	1.3	2.0					
		OECD景気先行指数	-2.3	3.0	2.0	5.6	5.9		5.4	4.8	4.1	
		景況指数 (95=100) *	100.8	94.4	93.5	98.8	100.0	100.5	99.7	99.8	100.9	100.7
	消費	消費者信頼感指数*	-5	-11	-18	-14	-15	-14	-14	-14	-14	-13
		小売売上数量* (上段：指数)	101.6	101.7	102.0	102.5	102.2		102.9	102.9	101.5	
		(下段：前年比)	1.6	0.1	0.3	0.5	-0.1		1.5	0.8	-0.3	
		新車登録	-0.8	-4.5	-1.5	2.1	4.7	-2.5	6.5	-5.2	-0.9	-0.5
	投資	建設業	—	—	0.0	0.9	-1.2					
		建設業信頼感指数*	-11	-19	-20	-19	-16	-16	-15	-16	-15	-16
	輸出	域外輸出金額	7.0	2.0	-2.5	4.7	11.7		15.9	6.9		
		域外輸出数量*	5.0	2.9	0.7	7.3	11.1		10.9			
	供給サイド	企業景況*	-9	-11	-10	-7	-5	-4	-4	-4	-4	-3
		鉱工業生産* (上段：指数)	100.5	100.0	100.3	101.3	102.2		102.3	102.5	101.8	
		(下段：前年比)	0.4	-0.6	0.3	1.0	2.8		3.2	2.0	1.6	
		製造業生産*	0.3	-0.8	0.1	0.9	3.1		3.8	2.3	2.7	
		設備稼働率(%)*	83.5	81.4	81.1	80.7	80.7	81.3				
		雇用者数	1.4	0.5	0.1	0.2	0.2					
	雇用	失業率(%)*	8.0	8.4	8.9	8.9	9.0		9.0	9.0	9.0	
		域外輸入金額	0.9	-3.0	0.0	-0.3	8.6		15.2	8.5		
	輸入	域外輸入数量*	-1.1	-0.4	3.2	4.9	4.4		4.9			
国際収支		経常収支 (10億euro)	-16.7	54.5	24.8	13.2	9.1		5.4	3.1		
		貿易収支 (10億euro)	48	99	71	19	24		9	13		
物 価		生産者物価	2.0	-0.1	1.4	0.2	2.0		2.4	2.9	3.1	
		消費者物価	2.4	2.3	2.1	1.7	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.1
		消費者物価 (コア)	1.7	2.4	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	1.8	2.0	1.9
金 融		マネーサプライ(M3)	5.5	7.3	8.1	6.4	5.1		5.2	5.4	5.3	
		3ヶ月物銀行間金利(%)	4.26	3.32	2.33	2.06	2.08	2.12	2.11	2.12	2.11	2.12
		10年物国債金利(%)	5.03	4.92	4.16	4.15	4.36	4.21	4.44	4.34	4.17	4.11
		株価 (DJ Euro Stoxx)	336.3	260.0	213.3	251.6	249.8	244.0	249.8	245.2	238.9	248.0
		為替相場 (ドル/ユーロ)	0.90	0.95	1.13	1.25	1.20	1.22	1.21	1.23	1.22	1.22
		名目実効相場	2.7	4.9	12.4	7.8	1.8	3.5	0.7	2.7	3.7	4.2
		短期レポ金利 (期末値)	3.25	2.75	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00

(出所) Datastream (注) 原則として数字は前年同期比; %、*は季調値。

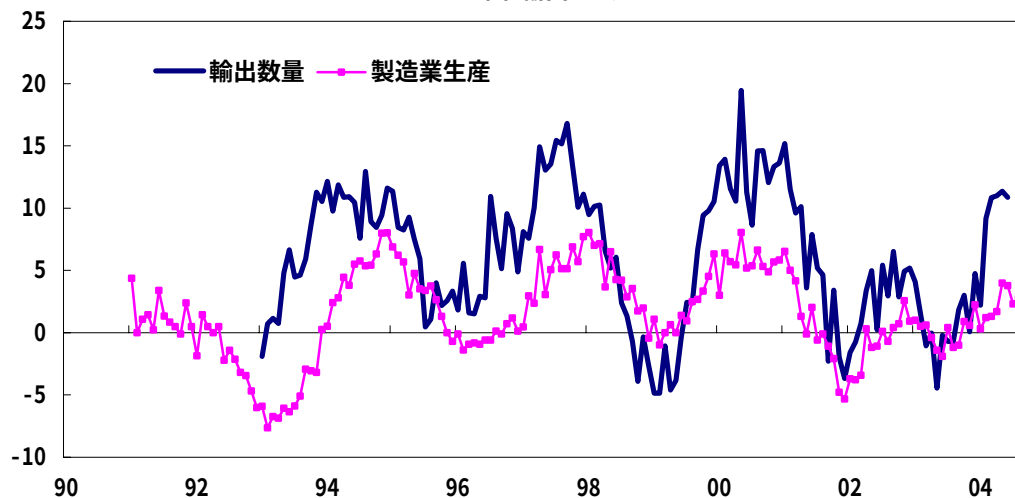
(長期間の平均=100)

ユーロ圏：景況指数



(前年比、%)

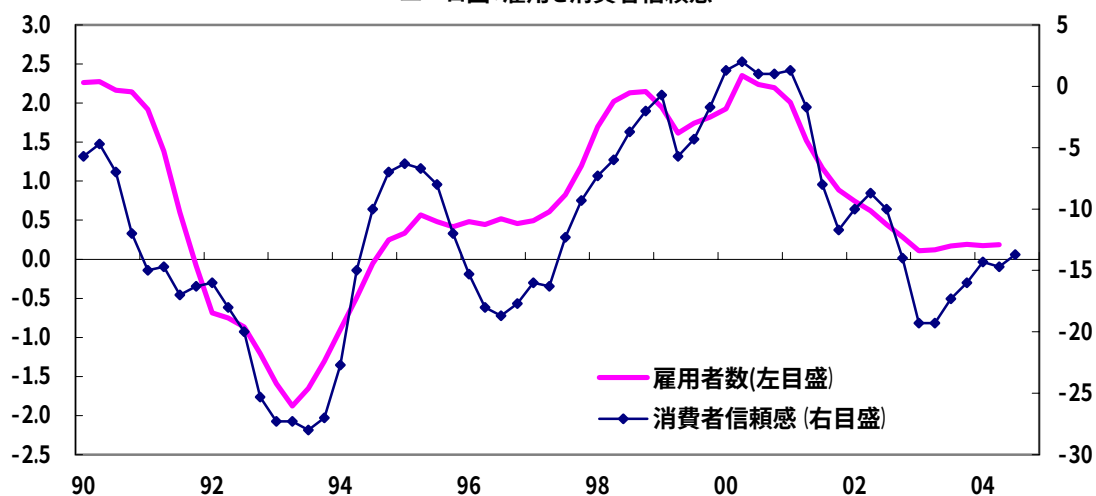
ユーロ圏：輸出と生産



(前年比、%)

ユーロ圏：雇用と消費者信頼感

(%)



(出所) Datastream

<ユーロ圏主要国の経済指標>

【ドイツの主要経済指標】

	01	02	03	04/ I	04/ II	04/III	04/06	04/07	04/08	04/09
実質GDP成長率* (上段：前期比) (下段：前年比)				0.4 0.8	0.5 1.5					
OECD景気先行指数	-2.6	3.9	2.6	6.7	7.7		7.4	6.7	5.9	
IFO企業景況指数	92.1	89.4	91.7	96.4	95.7	95.4	94.6	95.6	95.3	95.2
鉱工業生産* (上段：前期比) (除く建設) (下段：前年比)	100.1 0.2	99.1 -1.0	99.5 0.4	0.3 3.2	1.6 5.1		-1.3 11.1	1.3 0.0	-0.9 8.6	
製造業受注*	-1.6	-0.1	0.8	3.0	7.8		4.8	8.2	6.7	
国内*	-2.3	-3.1	0.0	2.4	4.4		3.4	4.9	5.9	
海外*	-0.9	3.7	1.6	3.7	11.7		6.2	11.8	7.5	
設備稼働率(%)*	84.6	83.4	82.7	83.9	84.0					
建設*	-7.5	-3.8	-4.3	-2.7	-9.5		-9.8	-11.1	-9.2	
建設業信頼感指数*	-42	-53	-53	-50	-48	-52	-48	-50	-53	-53
消費者信頼感指数*	-3	-11	-19	-15	-17	-17	-15	-17	-18	-16
小売売上数量 (除く自動車) *	1.1	-2.2	-0.3	-1.7	-2.7		-2.9	-1.8	-0.6	
新車登録	-1.1	-2.7	-0.5	-2.7	-0.1	-4.8	4.0	-7.1	-3.1	-3.7
賃金 (月給、全産業)	2.0	2.7	2.2	1.8	1.6		1.6	0.7	1.7	
就業者数*	0.5	-0.6	-1.0	-0.2	0.2					
失業者数 (千人) *	3861	4075	4382	4302	4373	4418	4380	4392	4418	4445
失業率(%)*	9.6	10.2	10.5	10.4	10.6	10.7	10.6	10.6	10.6	10.7
旧西(%)*	7.4	8.1	8.4	8.4	8.4	8.6	8.4	8.5	8.6	8.6
旧東(%)*	17.5	18.2	18.3	18.2	18.5	18.7	18.5	18.5	18.6	18.7
輸出金額*	7.4	2.1	1.9	7.2	13.1		10.1	10.9	9.0	
輸入金額*	1.3	-4.5	2.5	1.1	6.9		5.2	15.0	11.7	
生産者物価 (鉱工業)	3.0	-0.6	1.7	0.2	1.3	2.2	1.5	1.9	2.2	2.3
消費者物価	2.0	1.4	1.1	1.0	1.7	1.8	1.7	1.8	2.0	1.8
10年物国債金利 (%)	4.81	4.79	4.09	4.08	4.24	4.13	4.33	4.26	4.10	4.04
DAX株価指数	5614.6	4176.7	3198.3	4016.5	3964.9	3851.0	3986.4	3883.6	3760.1	3909.4

【フランスの主要経済指標】

	01	02	03	04/ I	04/ II	04/III	04/06	04/07	04/08	04/09
実質GDP成長率* (上段：前期比) (下段：前年比)				0.8 1.6	0.7 2.8					
OECD景気先行指数	-2.9	2.2	1.1	6.8	7.5		7.0	6.3	5.5	
INSEE企業生産見通しDI*(%)	-24	-24	-29	9	-6	8	-3	3	8	12
企業収益 (10億euro、年率) *	500	518	526	541	555					
鉱工業生産* (上段：指数) (除く建設) (下段：前年比)	101.2 1.1	99.8 -1.4	99.4 -0.4	100.3 0.5	101.0 2.4		101.5 3.0	101.5 2.3	99.6 0.7	
製造業稼働率(%)	87.4	85.3	84.8	81.4	81.8	82.6				
建設*	3.4	1.4	0.4	3.5	2.6		2.2	2.1		
建設業信頼感指数*	16	0	-9	-1	4	3	3	1	3	5
消費者信頼感指数*	-11	-16	-25	-15	-17	-14	-18	-16	-14	-11
小売売上数量* (上段：指数) (下段：前年比)	102.5 2.6	104.3 1.8	105.2 0.9	106.4 1.0	106.5 1.5		107.6 2.7	106.7 1.6		
新車登録	5.7	-4.9	-6.3	-2.8	2.5	-3.9	6.3	-10.1	2.7	-0.7
家計工業品消費 (除く自動車) *	3.8	0.9	0.9	2.5	5.5		8.2	2.6	5.4	
就業者数*	1.6	0.2	-0.5	-0.3	-0.1					
失業者数 (千人) *	2371	2524	2707	2674	2685		2685	2675	2707	
失業率(%)*	8.8	9.3	9.9	9.8	9.9		9.9	9.8	9.9	
輸出金額*	1.9	-0.5	-2.4	1.9	6.8		8.2	7.2	5.8	
輸入金額*	0.4	-2.4	-0.9	-0.4	8.2		9.6	11.8	14.4	
生産者物価 (鉱工業中間財)	1.2	-0.2	0.9	0.2	1.9		2.2	2.6	2.8	
消費者物価	1.7	1.9	2.1	1.9	2.4	2.3	2.4	2.3	2.4	2.2
10年物国債金利 (%)	4.96	4.88	4.13	4.10	4.31	4.17	4.42	4.29	4.14	4.08
CAC40株価指数	5019.3	3789.1	3119.1	3656.0	3696.2	3625.7	3709.3	3630.4	3568.6	3678.2

(出所) Datastream (注) 原則として数字は前年同期比; %, *は季調値。

2. 英国

- ・ 英国景気は、内需を牽引役に引き続き堅調に推移している。
- ・ 個人消費は依然として、堅調に推移。8月の小売売上は、衣料品、耐久消費財を中心に前年比 6.5%増と高い伸びを示した。新車登録台数は、利上げの影響もあり、4月以降前年比マイナスで推移している。しかし、年初が好調だったこともあり、年初来の累積ベースでは昨年並みの水準を維持している。9月の失業率も 2.7%と低水準で推移しており、雇用環境は良好である。
- ・ 8月の製造業生産は前年比 0.4%増と前月（同 0.7%増）より伸び率が一段と鈍化した。耐久消費財、資本財の生産は堅調だが、非耐久消費財の生産が低迷している。
- ・ 9月の住宅価格の上昇率は前年比 19.7%と前月（同 19.8%）比ほぼ横ばいにとどまっている。昨年 11 月以来、合計 5 回 125bp の利上げの効果も今ひとつという状況である。

【英国の主要経済指標】

		経済指標	01	02	03	04/ I	04/ II	04/ III	04/06	04/07	04/08	04/09	
景気	全般	実質GDP（上段：前期比）				0.7	0.9						
		（下段：前年比）	2.3	1.8	2.2	3.4	3.6						
		CBI企業先行き見通し(%)	-27	-6	-17	17	12	7					
		OECD景気先行指数	-0.7	1.7	-0.6	4.4	3.6		2.6	1.8	1.3		
		企業収益（税引き前）	0.0	9.4	9.6	3.2	8.3						
	消費	消費者信頼感指数＊	-5	-4	-6	-2	-4	-4	-6	-4	-5	-3	
		小売売上＊	6.1	6.8	2.9	6.3	6.8		7.4	6.4	6.5		
		新車登録	10.7	4.3	0.6	6.0	-2.2	-3.0	-0.5	-4.6	-4.9	-2.0	
		投資	住宅着工	1.3	0.8	3.5	-8.9						
			新規建設工事受注＊	-0.8	3.2	-4.6	4.8	11.3		18.9	-5.2	23.6	
		輸出	輸出 ＊	1.1	-1.9	0.7	-7.0	0.0		6.0	-0.1	1.7	
	CBI輸出受注評価		-34	-34	-33	-19	-6	-11	-5	-11	-8	-14	
	供給サイド	生産	製造業生産＊	-1.3	-3.1	0.4	1.2	2.2		1.9	0.7	0.4	
			CBI能力以下操業割合	62	68	70	66	65	54				
			CBI最終品在庫水準評価	17	16	17	9	10	13	5	12	10	16
		雇用	就業者数＊	0.9	0.5	1.0	1.0	0.7					
			失業率(%)＊	3.2	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
			輸入	輸入 ＊	4.4	1.1	0.8	-0.5	6.0		6.8	7.3	9.4
国際収支	経常収支（10億£）	-22	-18	-20	-5	-6							
	貿易収支（10億£）＊	-41	-47	-47	-14	-15		-5	-5	-5			
物 価	製造業生産者物価	-0.3	0.1	1.5	1.5	2.3	2.9	2.6	2.6	2.8	3.1		
	消費者物価	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4	1.2	1.6	1.4	1.3	1.1		
	ハリファクス住宅価格指数	8.1	20.8	19.2	18.5	21.6	20.5	22.3	22.0	19.8	19.7		
	単位労働コスト＊	4.0	2.9	3.0	3.6	2.5							
	平均実収	4.4	3.6	3.3	5.2	4.3		4.2	3.4	4.1			
金 融	マネーサプライ(M4)	6.6	6.9	7.2	8.1	8.3	9.3	8.3	9.4	10.2	9.3		
	3ヶ月物銀行間金利(%)	4.97	4.01	3.69	4.13	4.52	4.87	4.74	4.81	4.91	4.89		
	10年物国債金利(%)	4.91	4.86	4.47	4.76	5.07	4.98	5.18	5.08	4.97	4.90		
	株価 (FT100)	5561	4597	4051	4454	4482	4437	4478	4363	4388	4561		
	為替相場（ドル/£）	1.44	1.50	1.63	1.84	1.81	0.00	1.83	1.84	1.82	1.79		
	実効相場（90=100）	105.8	106.0	100.2	104.1	105.2	104.8	105.8	105.9	105.2	103.3		
	実効相場（前年比）	-1.6	0.2	-5.5	1.7	6.1	5.6	6.2	6.5	6.2	4.1		

（出所）Datastream （注）原則として数字は前年同期比；％、*は季調値。